

## ❖ 企業概要



事業者番号	
会社名 日本語	加藤木工
会社名 英語	Katomokko
創業・設立年	1947年
業種	木工業
主要製品	酒田船箆笥、木工芸品
郵便番号	998-0027
会社住所	山形県酒田市北今町 7-47
代表者	加藤治
TEL	090-5671-5410
FAX	0234-22-2242
URL	<a href="https://katomokko.com">https://katomokko.com</a>
Instagram (ユーザーネーム)	<a href="#">kato_mokko</a>
Facebook (ユーザーネーム)	<a href="#">katomokko</a>
EC サイト	<a href="https://base.katomokko.com">https://base.katomokko.com</a>
主な販売チャネル	国内委託販売、国内 EC サイト
国内外 EC 販売実績	Yahoo!ショッピング
対応言語	日本語、英語

## ❖ 創業者の想い・創業当時のエピソード

山形県酒田市で伝統工芸品である酒田船箆笥の指物（読み：さしもの、作業内容：木部組み立て）を四代に渡り継承している木工業者です。指物とは主に木板を金属製の釘やビスを用いず組み合わせる技術です。酒田船箆笥は江戸時代から明治時代にかけて日本海側を就航していた北前船に搭載されていました。当時は三国（福井県）、小木（新潟県佐渡）とともに三大生産地として、多くの職人が酒田市で腕を振っていました。しかし北前船就航終息とともに酒田船箆笥の利用需要はなくなり、美術工芸品として重宝がられたものの、現在では生活様式の欧米化に伴い需要はほぼなくなっています。需要の減少とともに酒田船箆笥に関わる職人は居なくなり、酒田市内で代々関わり続けている企業は弊社のみとなりました。

## ❖ 作者の想い、こだわり・地域との関わり

酒田船箆笥を次世代に継承すべく、伝統工法を守り続けるとともに、現代の生活様式に合わせて技術変革を行なった商品開発にも注力して参ります。酒田船箆笥の外装は樺・鉄金具・漆塗によって堅牢に作られ、重厚な雰囲気醸し出しています。一方で内側の引き出しは桐を用いて気密性が高いため、船が沈没しても浮力で回収できたという逸話もあります。外装の樺は山形県庄内産を用い、地域の林業持続に貢献します。職人技術が失われた鉄金具彫金・漆塗りについては伝統技法を紐解き理解するとともに、若手技能者を育成するなど地域産業発展にも貢献していきます。

## ◆商品情報



ブランド名	酒田船篋筒
商品名	懸硯
一般名称	船篋筒
素材	樺、鉄、漆
製造担当者	加藤木工
製造地	山形県酒田市
商品サイズ	W33 x D41 x H36 cm
商品重量	15kg

山形県酒田市の伝統工芸品として伝承されている篋筒です。江戸時代から明治時代にかけて日本海側を就航していた北前船に搭載されていました。外装は樺・鉄金具・漆塗によって堅牢に作られています。一方で内側の引き出しは桐を用いて気密性が高いため、船が沈没しても浮力で回収できたという逸話もあります。



ブランド名	ねこけし
商品名	シロクロ
一般名称	創作こけし
素材	檜
製造担当者	加藤木工
製造地	山形県酒田市
商品サイズ	W4 x D4 x H8 cm
商品重量	30g

手のひらに収まる可愛い猫型のこけしです。ひとつひとつ木目が異なります。切削・絵付作業は全て手作業です。絵付には保護塗料を塗布していないことから、檜の質感を感じて頂けます。水溶性顔料で絵付しているため、環境にも安心です。